

三重刺網試験及びもづく、なまこ採取試験報告

1. 調査目的

今回の試験は三重刺網による漁獲試験と三重網の構成に依る比較試験前付魚の回游状況を主としてマミダイの漁期調査を実施した。次に慶良間島沿岸のもづく及びなまこの資源調査を製造と共同採取試験を実施した。

2 調査船 かもめ丸 595吨 ヤンマーディーゼル 16P

3 調査人員 船長 機関長 奥平氏 機関氏

4 調査用具 三重刺網11桁 (内4桁は熊本式)

5 調査経過

5月6日諸準備を終へ10時15分泊港発15時10分北1(もづく採取位置参照)の地点迄15時20分より14時まで、もづく採取15時10分より15時40分まで北2の地点でもづく採取。17時20分より17時40分まで北1(三重網試験位置参照)にて投網18時より18時30分まで北2地点にて投網18時45分阿波速港着泊す。

5月7日6時40分より北2位置にて揚網7時20分より北1位置にて揚網9時よりなまこ調査10時より調査位置移動10時30分より30分間北2(なまこ調査位置参照)の位置にて調査15時10分阿波の浦迄16時よりもづく採取及調査16時15分より16時45分までなまこ採取。17時より風波高くなつたため、天馬船の操船無理の為三重刺網の試験は出来ませんでした。18時30分阿波の浦繫泊ブイにて乗船着泊す。

5月8日引網試験のため6時阿波の浦発速名寄港付近にて引網調査を実施しました。潮差の関係が致し難く、1時30分調査を打ち切り帰港につく。13時30分泊港入港。

6 三重刺網漁獲状況

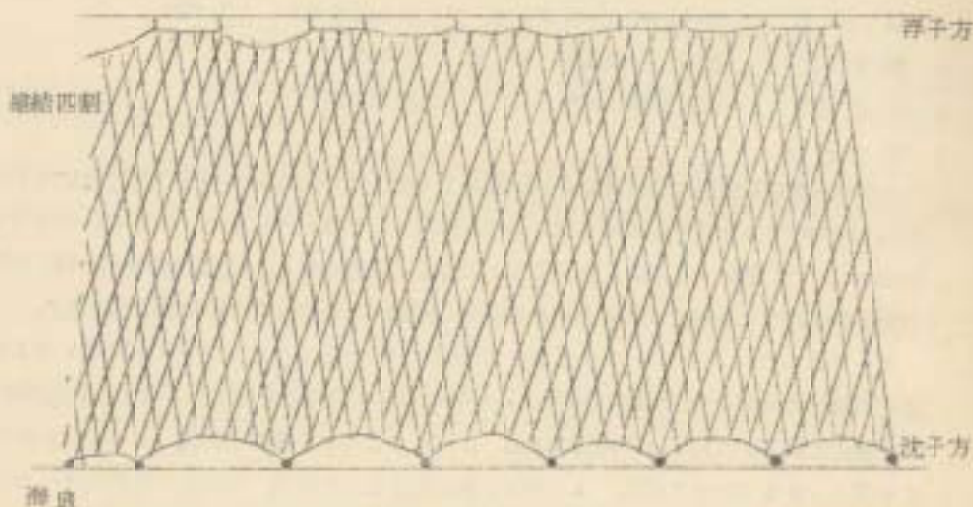
漁場順位	投網開始	投網終了	揚網開始	揚網終了	桁数	漁獲物	水深	備考
北1	17:20	17:40	7:00	7:30	6桁	マミダイ エイタン イワトウダイ ヒメジ	10m	成熟調査後 標本とした。
北2	18:00	18:30	6:40	6:55	5桁	エイタン 5 ヒメジ 5 カマス 3	18m	#

マミダイは900g程度の小魚でしたが却て成熟していたのでマミダイの漁上り時期と推察せらる。又阿波速の漁夫の話でも多量に釣れる様な筈でした。

三重刺網構成比較には当所で造つたものと熊本式の網を比較致しましたが、熊本式の網は取柄にく所があつた。且子方の綱が目通網がないため破損しやすい点と綱の紐が長い為

からよつて取扱いにくい、又罾の間が遠いため、底魚の掛る率が少い様に思われた。

船本式網構成法及海底に於ける網の立格状況下記の通り



今度の試験で魚の掛具合は網の下方部に多くかゝつて居り、罾の少く中間部は網底のある場合は海底より上層に浮ぶが、下部の方の魚の掛りが少なかつた様に思われた。長所としては、網底もなく、入江で沈子部が平均して底についた所では魚のからむ率が良い様に思われる。いわゆる魚が最初網にかゝつておられた場合網が軽いため、からまる点が利点である。

でもずく調査及採取状況

調査及採取位置及航位	調査及採取開始時	終了時	水深	採取量	備考
航 1	13:30	14:00	2 m	20 lb	資源量は少量でした採取もずくに製造渡し
航 2	15:10	15:40	50cm~1m	50 lb	"
航 3	16:00	16:15	1m		資源量は漁獲的10±広範囲にあつたが、短かいため採取出来なかつた。

B なまこ調査及採集状況

調査及採取位置及順位	開始時	終了時	水深	備考
坂 1	09:00	09:30	2m-3m	あかめしきり、なまこ等は多量にあり。
坂 2	10:30	11:00	3m-4m	じやのめなまこ少量あり。
坂 3	16:15	16:45	15m-18m	じやの目なまこ多量にあり、又とうふなまこは水深5m位に多量にあり。

坂5調査場にてじやの目なまこ約50ヶ位採して製造室に渡した。

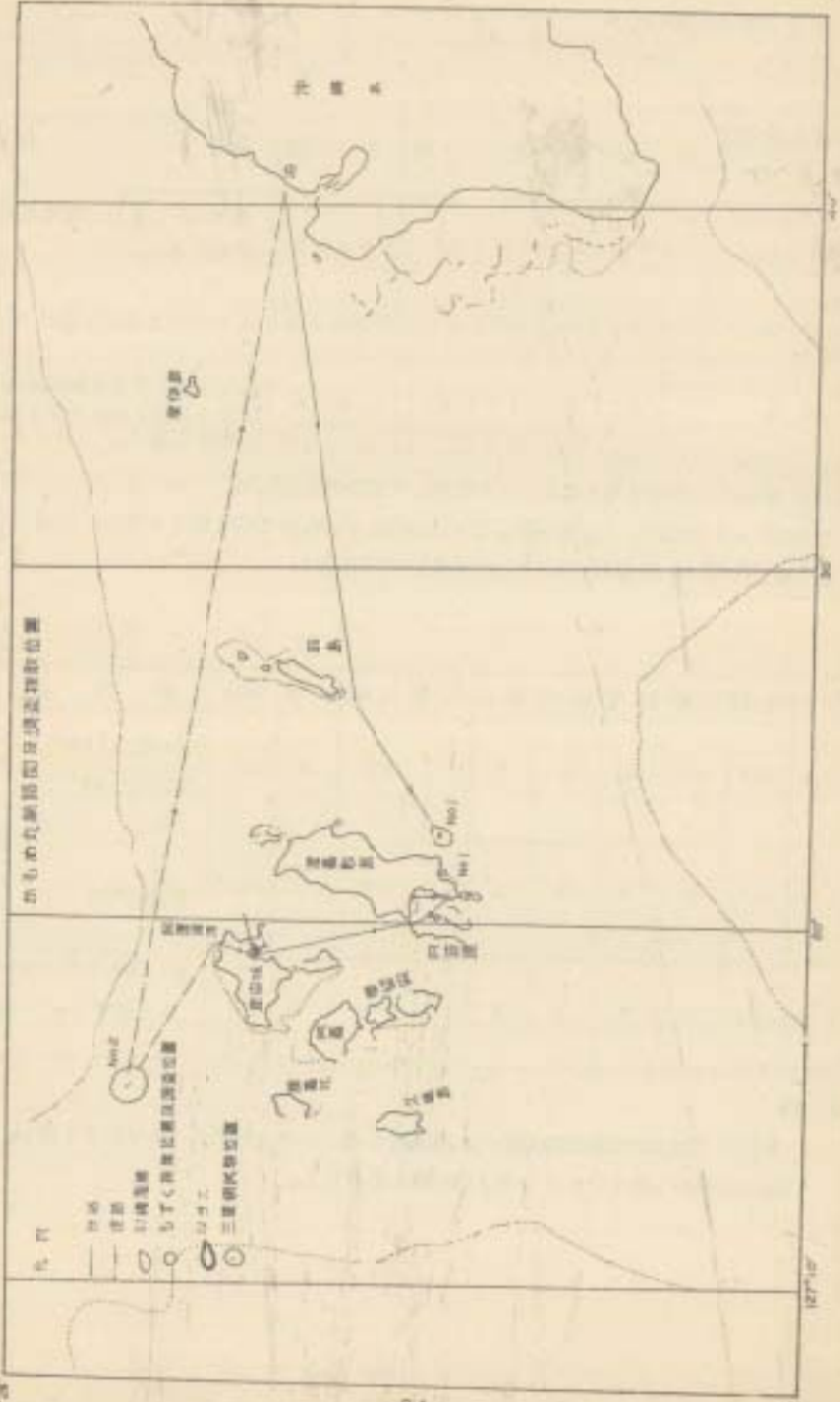
なまこは(4月)は早くて長時間潜ることは出来なかつたので採取量も少なかつたが、今後遅くなり潜り作業が充分出来れば多量に採取出来る。

月日	時刻	天候	雲量	風向	風力	気温	水温	波浪	うねり	観測順位	数
5-6	12h	b0	6	E	3		23	1	2	N 26° 1' 12"	E 127° 37'
5-7	14h	B	9	S	2		22	1	0	安瀬港内	
5-8	10h	O	7	S	3		22	1	1	N 26° 15' 12"	E 127° 34' 12"

考察

今回の三重刺網試験は時期的の魚道選定が悪かつたと思われ、タミダイ潮上り時期は卵の成熟から見て(5月上旬)が適期と思われる。

26°30'



26°